

○2番（山口 等君）〔登壇〕

（全般モニター使用）皆さんこんにちは。議長より登壇の許可をいただきましたので、ただいまから山口等の一般質問をさせていただきます。

きょうで一般質問もいよいよ最終日となりました。そして、最後の質問者でございます。ことし最後ですので、しっかりと締めくくっていきたいと思います。皆さん多少お疲れのところもあるかと思いますが、もう少し辛抱のほどをよろしくお願いします。それで、できるだけスピーディーに進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

早速ですが、今回は4項目の質問をさせていただきます。

まず最初に、地域の安全・安心について、2つ目に、ちょっと通告の順番を入れかえまして、武雄小改築工事における安全対策について、3、「まちづくり」について、そして、最後に武雄保育所のその後についてでございます。

まず初めに、地域の安全についてでございます。

柏岳の砂防事業についてなんですけど、このことはことしの3月の議会でも質問させていただきました。この事業は平成12年に計画がなされ、平成15年に着工予定のことで進んでおりました。しかし、この柏岳の周辺部に住んでおられる住民のほとんどの方は賛成ではございますが、ただ1人地権者の方で同意が得られずにこのままの休止の状態になっております。この事業を同意されていない方は、現在福岡のほうにお住まいになられ地元に住んではおられません。この1名の方の地権者の同意が得られず砂防事業ができないまま、もし、土砂災害等でも発生したらどうなるのでしょうか。旧市民病院があったところは現在障がい者の就労支援事業や介護施設等で活用されております。そして、多くの方が出入りをされております。この事業に関する同意の署名を川良区関係だけでも約500名の方からいただいております。

そこで、市長に質問ですが、この500名の署名については非常に重いものがあると思います。市としても放ってはいけないことと思いますが、このような場合、法的な、しかも強制的な強制収用ということはできないのか、まずお尋ねします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

答弁に入ります前に江原議員にお願いがあります。私のブログをいつもごらんいただきありがとうございます。ですが、もう私のブログは見らんほうがよかです。見たらいらいらされると思いますので、やっぱり見らんというのも一つの選択肢ということは思っておりますので、謹んでお願いを申し上げたいと思います。

答弁に入ります。

その柏岳の件について、私も重要性、重大性は深く認識をしております。特に川良の区長

さんがもう一生懸命手紙を出されたりとか、きょう傍聴席にお見えになっておりますけれども、本当に頑張っていたに對して、本当に感謝を申し上げたいと思っています。ですので、この署名については重く受けとめますと同時に、やはりここは私自身もせんといかんと思っています。

ただ一方で、先ほど御指摘がありましたように、地権者の方がいらっしゃるということで強制収用の件がありますけれども、これについては県が、やっぱりちょっと難色を示しております、佐賀県が。というのも、本当にこれの事業をして災害を防げるかどうかということについて、その効果がきちんと実証できないと裁判になったときに、ひよっとすると負けてしまうのではないかとことを言っております。代案としては設計変更等がありますので、強制収用というのはもう民主主義の最後の手段でありますので、一旦ちょっと県と市とやっぱり区長さんたちを初めとして、もう一回議論をして、それでもう設計変更は無理だと、これは強制収用しかないということであれば、それは私はやってしかるべきだと思っております。

武雄市においては、なかなか強制収用というのはなじみが、オールジャパンに見てもそんなにないんですけれども、松原通り等で今度行くことも予定をしております。ですので、やっぱり公の利益というのは第一なんです。特に柏岳の場合は安全・安心、命がかかわる問題ですので、ちょっと県とは私は見解が少し違いますけれども、それは一回ちょっと県も交えて話し合う必要があるだろうと、そういう段階に差しかかっているということは深く認識をしております。

重ねてではありますけれども、強制収用を、私は強制収用しか手段がないのかなというのは思っていますけど、何分ちょっと県との調整がありますので、このように答弁をさせていただきます。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

ちょっと写真で状況の説明なんですけれども、柏岳、このところが溪流箇所といいますか、土砂災害のおそれがあるということです。角度を変えてみた場合、旧市民病院のちょうど真裏になります。このところですね。このところが急傾斜というようなことで災害がある。

今、強制収用も考えられるということなんですけど、設計変更がですね、これは計画が平成11年ごろ計画されております。それで、その後、設計の基準が変わっておるかと思っておりますので、そのあたりよく県と協議されて前のほうに進めてほしいと思います。これは担当部のほうとしてはどうのお考えでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

議員御指摘のとおりでございます。平成16年度以降、数回にわたって設計基準が見直されているようでございます。したがって、該当地にかけない方法でできるのか、これについて来年、平成25年度で検討をしてみようということでございます。それで、設計変更で可能と、しかも現場の効果があると判断されたときには平成26年度からでも着手したいという県の回答でありました。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

設計変更でもして、極力前に進めてほしいと思います。

ただ、設計の見直しとなると、どうしても時間も要します。それで、地元でもことしの6月なんですけれども、市の出前講座をお願いして防災講習等も開いていただきました。私も出席させていただきましたけれども、皆さんこのことに関しては高い関心を持っておられますので、そういったソフト面での避難等を含めた対応についてはどのように検討されているのか、そのあたりのことをお伺いいたします。

○議長（杉原豊喜君）

角政策部長

○角政策部長〔登壇〕

一般的な土砂災害について申し上げますと、国民の生命を守るため土砂災害のおそれのある区域についての危険の周知、避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制などソフト対策を推進するため土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律がつくられております。これに基づいて県の作業としては、土砂災害のおそれのある区域を指定するというわけでございますが、この指定に当たっては調査、あるいは住民説明会、これを経て市長の意見を聞いて県知事は指定をするということになっております。市内におきましては、若木町が警戒区域の指定をされております。あと武雄町、朝日町、橘町は区域調査が完了いたしております。東川登町、西川登町、山内町では現在区域調査中でございます。北方町ではまだ未着手ということでございます。調査が済んだ後、市の作業としては区域指定にあわせて危険を周知することと、土砂災害のハザードマップの作成や警戒避難体制をつくっていくということが市の作業というふうになると思います。

以上でございます。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

一昨年ですか、平成22年のちょっと大雨のときの写真なんですけど、ちょうど病院の裏側

のところでは、このときはもちろん大雨洪水警報が発令されたときなんですけど、こんな感じで、とにかく裏の道路が川のような状況です。これも7月14日だったと思いますけれども。それと、今回、柏岳のそういう災害が発生した場合、どういった範囲まで影響を及ぼすかということなんですけど、大体川良区と一部甘久区も入ってくるわけなんです。それで、約300戸ぐらいの家屋といますか、そういったところに影響して約1,000人近くの方がそういった被害をこうむるんじゃないかなということを県のほうは予想をされております。

それで、また、これは平成21年7月だったんですけど、県道の武雄伊万里線、赤穂山トンネルの手前が崩落したときの写真なんですけど、本当に、これが県道なんですけど、この外側線がここまでずれてしまっておるような状態で、私もずっと生まれてこの方地元におるんですけど、まさかここがこんな感じで滑るなんてというのはほとんど予想もしていなかったということで、やはり県のほうがこのようなことで指定をした柏岳でもありますので、ぜひ前のほうに進んでいくことをお願いしまして、次の質問に移らせていただきます。

2つ目に、武雄小学校の改築工事における安全対策についてでございます。

武雄市も学校改築が現在進められており、この武雄小学校も新しく生まれ変わろうとしております。学校の改築工事の本来の目的、意義というものは、老朽化、耐震化はもちろんのことなんですけど、新しい時代の要請に応じた学校施設としての充実を図ること、また、学校教育活動が展開する場として、地域住民とともに、新しい学校施設を活用した教育方法の発見や、それを実現するための学校施設にすることではないでしょうか。

武雄小学校も明治7年、今から約140年ほど前にできた学校で古い歴史がある学校です。この伝統ある武雄小学校を半世紀ぶりに改築することなんですけれども、今回の工事で事故等が絶対にあってはならないと思っております。この安全性を何で申しますかという、武雄小学校は皆さん御存じのとおりどこから進入しても道路幅員が狭くて歩道等の確保もされておられません。それで、計画当初から工事関係車両による事故等が非常に懸念された場所です。そのことが一番のネックになっております。それで、十分な安全管理が必要だと思いますけれども、そこで今回は、学童、地域住民及び一般車両を含めた第三者災害の安全対策について質問をさせていただきます。

さきの9月議会で武雄小学校の改築工事はこれから約2年半ほどかかるということでしたが、今後の改築工事等の計画についてどのようになっているのか、お伺いいたします。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

武雄小学校につきましては、改築ということで現在校舎の解体工事が行われておりまして、今月中には解体工事が終わるという段取りになっております。この後、今議会でもお願いし

ていますが、校舎の改築事業費につきまして、仮契約が終わりましたので、議会に議案として出しているというところがございますので、議決をいただければ工事にかかるということになります。来年の11月までに完成をいたしまして、その後、来々年の1月には新校舎に子どもたちは移れるという形になってまいります。それから、校舎が完成をいたしますと、平成26年には体育館の建設を行いたいということで考えておりまして、体育館を26年度に建設をいたしまして、27年からその使用を始めるということになります。その後、旧体育館、現在の体育館ですね、これを解体するという事業が27年度に入ってくるということになります。そういったことで工事を安全に進めたいというふうに思っております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

現在、解体工事が行われて年内に大体終わることなんですけど、今の大型車両が運搬している状況です。これは副島整形外科の前のところ、西浦地区のところですね。これが武雄保育所をちょっと下ったところの狭いところの道路です。それで、ここが一番の狭いところなんですけど、武雄保育所の横ですね、これが道路幅員が2メートル70ほどしかない本当に一人一人も通らないような状況で現在運んでおられます。

それで、最近になって非常に道路等の、約2カ月ちょっと運搬しかけてなるんですけど、道路に傷み等が非常に激しくなっております。ちょっとその状況を説明したいと思います。これが8月末の状態なんですけど、これは11月末ですね、このような状態に非常にひび割れ、クラック等も発生して、この段差がもう約4センチぐらいですね、幅的には70センチぐらいなんですけど、これが11月の末ぐらいにこのような状態で非常に危険な状態、また歩行者もですけど、自転車とかバイクとか幅員的にも狭いものですから、そういった状況のところも現在出てきております。これも運搬路の状況です。これ一番狭いところですね、保育所の横なんですけど、これ2メートル70ほどしかないんですよ。これも大体こういった感じで、ひび割れが——もう同じところしか行くことができないものですから、こんな状態になってきております。

それで、現在校舎の解体工事も一生懸命やっておられて、年内には終わると思うんですけど、今のところ大きなトラブル、事故等はありませんけれども、今言ったように市道の路面の状況とかが非常に激しくなって、特に桜町の交差点から川良方面に上がる場所ですね、一番幅員が狭いところ、こういったところでは傷みが激しくなっております。また先日は水道管の破損事故といいますか、そういったトラブルも発生しております。

それで、解体工事が完了すると、いよいよ新築工事ということになっていくかと思うんですけど、今度は生コンクリートを積んだ大型車が頻繁に運ぶということで、子どもたちを含めた一般車両、また第三者の方にもいろんなトラブルがあるかということが思われますけど、

現場を今現在担当されておる担当部としては、この一般車両を含めた交通安全対策はどのようなことで考えられておられるのか、お伺いいたします。

○議長（杉原豊喜君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

小学校の改築が今後2年半、3年程度かかるわけですけれども、交通安全対策には十分気をつけてしなければならないと思っております。

2点ございまして、1つは、交差点、あるいは通行が多いところには必ずガードマンを配置するというのがまず1点でございます。2点目といたしまして、先ほど御指摘ありましたように、路面等の段差が生じる可能性がございますので、これについては早急に現場を見ながら対応をしていく、そうしないと大変なことになるということで、そういう体制でやっというふうにご検討しております。

いずれにしても、幅員が狭い中での工事になります。そういう関係で、今度、新年度になりますと新しく新校舎が入りますので、生コン等の搬入が相当予想されます。毎日搬入ということじゃございませんが、月に何日かですね、重車両になろうかと思っておりますので、その辺は地域の方たちとも協議しながら、十分に安全配慮に気をつけていきたいというふうにご検討しております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

いずれにしても2年半という長い期間ですね、学童の安全確保はもちろんですが、地域住民の方の一般者に対する安全対策も万全にしてほしいと思います。

そしてまた、武雄保育所も移転の予定があられますけれども、この小学校が完全に完成するまでは恐らく今の状況のところだと思うので、特に夕方等の父兄さんが送迎をされる車とか、そういった事故等も非常に考えられますので、できるだけ安全対策は万全にしてほしいと思います。

そして、市としても定期的にいろんな打ち合わせ、安全的なことはもちろんなんですけど、工事関係者はもちろんなんですけれども、学校関係者、また武雄の保育所、そして、地元の代表者を交えて定期的にいろんな打ち合わせをしながら、ぜひ安全対策には万全に努めてほしいと思います。もし、この学校建設で子どもたちに事故でもあれば本当大変なことです、市長、そのあたりよろしくお願いします。再度、心構えをお願いします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

安全第一なんですね。そして、やっぱりここで事故が起きると、もう本当に学校をちゃんとしようという気持ちそのものも本当に台なしになってしまいますので、本当に安全第一でいろんな施策を組み立ててまいりたいと、このように思います。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

本当にちょっと長い期間になりますけど、絶対事故等がないように安全対策でよろしくお願いたします。

では、3つ目の質問に移らせていただきます。「まちづくり」についてでございます。

生活環境保全林であります柏岳、先ほども柏岳の話題だったんですけど、柏岳に散策道の整備をしたらどうかという提案をさせていただきます。

柏岳は通称洗面器山と呼ばれる山で、標高が大体240メートルであります。保全林として県の事業で平成9年から平成12年までの4年間、林内道路の整備とかをしていただきました。また、現在はこの保全林を守るために朝日のセリタ建設さんがボランティア事業として5年間の契約で保全林の整備に取り組んでいただいております。本当にありがたいことだと思っております。

この山頂付近にありますあずまやから見る風景は非常にすばらしいものがございます。それで、武雄市といいますか、全体が見渡すことができ、特に天気がいいときには遠くは太良、雲仙あたりまで見える本当にいい場所でございます。まだ登っておらない方は、ぜひきょうのような天気の良いときに一度登ってみてください。そして、このあずまや付近には駐車場も完備されていますので、上のほうまで車で行くことができます。ぜひ皆さん登ってほしいと思います。そして、地元では毎年1月1日に初日の出を拝む会ということで、そういった企画もしておりますので、よかったですぜひ登ってみてください。

それで、この周辺には非常に名所といいますか、見どころも多くありますので、その辺をちょっとまず紹介をさせていただきます。これは皆さん御存じだと思うんですけど、円応寺の参道のところの桜です。本当に4月の中旬は、県内各地はもとよりですけど、九州遠くからも見学に、桜を見に、花見に見えている場所でございます。

そして、鎌倉水ですね、これ県道武雄伊万里線のそばにあるんですけど、これがある。鎌倉水の由来です。

それで、内ノ子ため池の周辺です。これちょうど最近の写真ですけど、非常に紅葉等もきれいで見晴らしのいいところです。

これが山頂に通じる道路ですね。

これがセリタ建設さんが今取り組んでおられます「ゆらぎの森」ですね。非常に中もきれいに整備されて、散策道等もよく整備されております。

それで、山頂に行けば、このあずまやといたしますか休憩施設があるんですけど、ここまでは散策道等も整備されておりますけど、これから東のほうといたしますか、朝日町の中野方面になるかと思うんですけど、そちらのほうに散策道を設けたらどうかということです。というのも、我々もこういう感じであずまやの整備といたしますか、舗装工事等も地元のほうでさせていただきます。そしてまた、美化活動もこの辺の周辺までも現在、川良区全体で年に1回ないし2回やっております。

そして、このあずまやから見る風景なんですけど、これやら北方から、このほうは恐らく有明海が見えると思うんですけど、非常に見晴らしがよくて景色がいいところです。これは杵島山、橘方面を見たところですね。これが塩田方面、ちょうど真ん中が新武雄病院、これがちょうどヘリポートですね、ちょうど真ん中にありますけど、そのところです。そして、これは武雄温泉駅と奥のほうには太良、雲仙が天気のいいときは見える本当に素晴らしいところです。ここに、これまた日の出です。これは、ことしは見るができなかったんですけど、去年の暮れですね、ちょうど7時33分ごろこの状態になるかと思うんですけど、ぜひ初日の出を見てほしいと思います。

それで、提案なんですけど、この柏岳ですね、これは標高大体240メートルです。旧あずまやがここにあるんですけど、散策道をこのような状態で中野方面におりたらどうだろうかという提案です。そして、ウォーキングコースにもできるんじゃないかなと思いますけど。

それで、市長も最近よく走っておられるというかジョギングされているのを見ますけど、我々の地区でも内ノ子ため池までとか、赤穂山トンネルまでよくウォーキングをされている方を多々見るようになりました。それで、このコースをもし整備されれば、ハイキングコースの四、五キロぐらいのコースができると思うんですけど、そしてまた、新たな朝日町、武雄町の交流もできてきて非常にコミュニケーションの場にもなるんじゃないかなと思いますけど、市長このあたりどうお考えでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

いや、そいこそやっぴりまちづくり交付金でしてほしかったなどはやっぴり思うんですけど、それはもう終わった話ですので――宮本議員何ですか。ちょっと答弁させてください、本当。

で、何でしたっけ。（「林道」と呼ぶ者あり）そこの林道ですよ、僕は賛成です。やっぴり物すごく今、山口裕子議員さんから質問にはありましたけど、歩かれている方々が多い。それで、僕はどっちかといったらフラット派なんです。フラット派。これ平たんな道専門。でも、私と違う人でやっぴり山ガールとかいらっしゃるんですよ。その方が今もうふえつつありますので、ぜひこれ散策道をやっていきたいと思います。これ協働してやって

いきたい。幸いにして私ども元気な退職者がこれから出てまいりますので、この人たちがボランティアで支えていきたいと思っています。

ですので、富津林道ですよね、川良からあっちのどこでしたっけ、福和に抜けて上西山におりていく、私もたまにジョギングしたり歩いたりしますけれども、あのコースって、僕はびっくりしました。県外から今（発言する者あり）はい。昔、稲富県議だけやったとですよ。ですが、今県外から自転車だったり歩いたり走ったりという方々がいらっしゃって、この前あげくの果てはアメリカ人とセイ、ヘローと遭遇するぐらい、やっぱり知っている人は知っているんですね。GPSの時計とかiPhoneを見て。ですので、このコースもそれに類するものになると思います。やはりこれからの自治体の豊かさはどれだけ手軽に気軽に歩けるかということ。しかも、結構夫婦で今歩かれていますもんね、夫婦で歩いたりとか、あるいは松本町長さんなんかは同級生と歩いたりされていますし、私は友達が余りいませんので一人で——あ、妻とも走っていますけれども、したりしていますので、いろんな歩き方とかになると思っていますので、これはぜひ柏岳の散策道というのは我々としてもぜひ応援をしたいと思っております。

それで、役人は余り机にばかり置いておくとだめです。やっぱり現場に出て汗を流す。特にそれで育ったのが前田副市長なんですよ。やっぱり体を動かさんば。ですので、ぜひここは私も行きますので、ちょっと邪魔になるかもしれませんが、ぜひこれはやっていきたいと思えます。そのときにセリタ建設さんが本当によく一生懸命やっておられますので、そういう地元の企業体であるとか、事業者の皆さんたちにも声をかけてね、ぜひ議会の皆さんたちも、スコップは全部お貸ししますので、ヘルメットと、よろしくお願ひしたいと、このように思っております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

このため池付近には林内道路があるんですけど、その付近が駐車場がないんです。というのが、駐車場スペースはあるんですけど、車が入らないような状況にしてあるんですね。そこをできたら市の所有地があると思うので、有効活用できるように駐車場として整備を、碎石でもひいていただいて、特にため池で釣りとかをされている方がおられるんですけども、道路に車をとめながらされている状態です。できたらそこを活用できるように駐車場の整備ができないのか、お伺ひいたします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

ちょっとモニターを変えてもらえますかね。（モニター使用）議員おっしゃっているのは

このことですね。駐車場に、この芝生のところ。

〔2番「はい、そこです」〕

ここですね。

〔2番「今、標識が立っておるところ」〕

そうですね。したいと思います。します。する。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

早速ありがとうございます。ただ、そういうふうなことでスペースをつくれば、どうしてもまたごみの不法投棄とか、そういったことの懸念も出てくるかと思うんですけど、我々も毎年美化活動をやっていますので、マナーの問題だと思うので、我々も努力して、そういう清掃活動を今後も続けていって、できるだけきれいな雰囲気をつくっていきたいと思います。

そして、柏岳に関しては県と色々な協議が必要かと思うんです。それで、いろんなことで取り組んでいただいて、もし整備できれば、いろんな管理面が出てくるかと思いますが、我々がいろいろ今、美化活動をやっていますが、そのことをずっと続けていって、できるだけ環境を保持するようなことで頑張っていきたいと思います。市長、いかがでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

やっぱり僕はね、川良はすばらしいと思いますよ。わっかもん会であるじゃなかですか。余り若こうなかかもしれませんけど。ですので、やっぱりそういう本当の意味での自治がずっとここね、等議員さん、やっぱり議員になれる前からやられていたじゃないですか。あの自治意識がやっぱり一番進んでいるのは川良だと僕は思うんです、武雄町の中でね。ですので、やっぱり川良でこの成功例をぜひつくってほしいんですね。そうするとこれが例えば、朝日であったりとか、いろんなところにまた川良方式が広まるとね、あ、自分たちもできるんじゃないかというふうになると思いますので、ぜひ等議員さんにおかれてはね、まだわっかもん会でしたっけ。

〔2番「はい」〕

わっかもん会顧問でしたっけ、会長。

〔2番「いや、会長じゃなかです」〕

そんな照れないでくださいよ。ですので、ぜひ引っ張って、もうあと20年ぐらいわっかもんということで頑張っていたきたいなと、このように思います。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

はい、ありがとうございます。本当いろんな活動を今わかもん会でやっております。きょうは区長さんも見えていますので、いい答えができて本当に安心されたと思います。

そしたら、4番目の最後の武雄保育所のその後についてでございます。

武雄保育所の質問を先日、吉川議員のほうの一部、今後のスケジュール等について質問をされましたので、そのことはちょっとなんして、今年度内に民間委託ということで公募をしていくということを言われました。それで、武雄市と武雄市の保育所もいよいよ最後の民営化になるかと思うんですが、公募要件として、前回一番新しいのが、朝日の保育所だと思うんですけど、そのときと同じような要件になるのか。それとも、また違った要件を付加されるのか。そのあたりのところをお伺いいたします。

○議長（杉原豊喜君）

蒲原こども部長

○蒲原こども部長〔登壇〕

公募要件につきましては、まだ決定はしておりませんが、議員さんおっしゃったとおり朝日のときの今までの民営化に準じた形でつくってまいりたいというふうに思っております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

民営化の趣旨ということは人件費の削減と、それによって浮いた経費でより一層の保育サービスをするという、充実を図るという意味もあるかと思います。武雄保育所も民営化ということで現在進めておられますけれども、武雄保育所で今やっておられる休日保育、また、一時保育等については前回の質問でもしましたけど、さらに充実を図っていくということをおっしゃっていただきましたが、そのあたりのことをどのように今後進めていきたいということをお考えられておられるのか。また、今後ですね、武雄市で唯一の公立の保育所である武雄保育所が民営された場合、特別保育がどうなっていくのか、このあたりのところをお伺いいたします。

○議長（杉原豊喜君）

蒲原こども部長

○蒲原こども部長〔登壇〕

武雄保育所のみならず特別保育を充実していきたいというふうに考えております。

今、具体的に上がってまいりました休日保育、日曜日、祝日の保育でございますけれども、保護者のニーズ、これは平成21年度の次世代育成のときの調査では、利用者が4%、利用したいと思っていられる方が17%程度ということで2割ぐらいがそういうニーズがあるか

なというふうに、その当時で把握しております。若干上がってきているようにも思っておりますので、今は武雄保育所1園のみが行っておりますけれども、できましたらそういう園をふやしていきたいという方向で充実をさせていきたいと、休日保育をする園をふやしていきたいという方向で充実をさせていきたいなというふうに思っております。

また、一時保育でございますけれども、かなりこれは武雄保育所だけでなく、私立の園でも実施をしていただいております。利用についてもこれまで以上に周知したいところがある、利用がいろんなリフレッシュをするためとか、いろんな家事をするためとかということで利用していただけるように周知を図っていききたいと、そして充実を図っていききたいというふうに思っております。

それから、病後児保育については、先ほどちょっとなかったかもしれませんが、現在は嬉野市と江北町のほうに委託をしているということでございますけれども、できましたらこれも市内の病院等、いろんな施設考えられるかと思っておりますけれども、働きかけをしていきたいと。市内でのそういう施設ができるように努力をしていきたいというふうに思っております。

今回、民営化計画をつくりまして今から進めてまいりますけれども、民営化で削減した経費を活用いたしまして市全体の特別保育の充実、また、子育て支援、環境を充実するために充てていきたいと、そういうふうに武雄市の保育、また、子育て環境を充実していきたいというふうに考えています。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

武雄市として最後の民営化の保育所でございます。今言われたように、病後児保育まで含めて、今現在武雄市では、これは特別に嬉野市と江北町で行われていますけど、ぜひそういったところもできるような施設に、保育所にしてほしいと思います。

現在のこの保育所も昭和48年に建設されて約39年、約40年ぐらいが経過しております。それで、老朽化等も見られますけど、また、今の設置されている場所も非常に送迎等のアクセスといいますか、道路事情が非常に厳しいところがあって、ほとんど駐車場すらないというふうな現状ですので、そのことを十分踏まえて、先日のお答えでは武雄小学校校区内にできたら考えていきたいということでございましたので、私も地元におりますので、どうか地元のほうにでもいろんなことがあったら言っていただいて、今後、前向きに考えていきたいと思っております。

そんな中で、これからも武雄市の保育サービスが一層充実しますようにまたお願いして、そして、市民の福祉の維持向上につながりますことをお願いして、私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長（杉原豊喜君）

以上で2番山口等議員の質問を終了させていただきます。

〔3番「議長、議事進行」〕

3番上田議員

○3番（上田雄一君）

すみません。きょうの最初の山口昌宏議員の質問、2人目の昌宏議員さんの質問の中で出てきていました新聞の、某どこかの新聞の、武雄町出身の議員の一人であります上田です。

今回もそうなんですけど、これまでの議会もそうなんですけど、ちょっと一般質問の中でいろいろ個人が出した新聞かれこれ、私も今回、私の名前も出されましたので、私は私なりのやり方で考えていますけど、とにかく何か個人があることないことじゃないですけど、あることはいいですよ。ただ、なかことも何か間違いというか、よかごと書かれ過ぎよらせんかなと思うて、ちょっと私もずっと前から気になって一般質問とかもやらせてもらったことあるんですけど、ここでぜひ議長にお願いしたいのが、武雄市議会としての公式な議会だよりを出すことを、やっぱり一回ちゃんと検討してもらいたいなというのがありまして、今回、議事進行でお願いしたいところであります。それをすれば、こんだけもめることもなかろうし、でたらめ、うそばかり書かれることもないのかなと。それで議会として皆さんでやりとりを、いろんな議論をやっているということは皆さんにもやっぱりもっと周知していくべきかな。デジタル面では物すごく武雄市は最先端を行っていると思うんですよ。できればアナログ面ももうちょっと強化して、とにかくでたらめばかり書かれることをぜひとも防止するようなためにも議会だよりをぜひ一度検討していただきたいなと思って議事進行させていただきました。よろしくをお願いします。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

静かに。

ただいま3番上田議員の議事進行につきましては、議会の中でも議会改革調査特別委員会も設置していただいております。この特別委員会の中で御協議を今後お願いしたいと思っております。そういった対応をさせていただきたいと思っております。